




⑩風を読む

実施時間	45分	対象学年	中学生以上
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会・我が国の国土の自然などの様子		
	理科・生物と環境・大地のつくりと変化		
	家庭科・家族や近隣の人々とのかかわり・快適な住まい方		
	【中学校】		
	社会・日本の地域構成・現代の日本と世界		
	理科・生物と環境・日本の気象		
	技術・家庭科・家庭生活と環境・世界と比べた日本の地域的特色		
	【高等学校】地歴公民・理科・家庭		
○概要○	島しょ地域であり亜熱帯海洋性気候の沖縄の生活において、「風」は重要な“自然現象”である。沖縄の生活に密着した旧暦と、季節の変化により起こる自然現象の関連に気づかせる。		

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“風”に関わる問いかけ。 「今日はどんな風が吹いている？」など。	○“風”に関わる興味を引き出す。	
展開1 (15分)	○沖縄の風を知る ★沖縄には季節の変化を告げる「風」に名前があることを説明。 →季節の羅針盤を提示し、沖縄の季節を知る。	○沖縄の季節を学ぶ。	・ワークシート
展開2 (15分)	○旧暦カレンダーと風を比べてみよう！ ★昨年の旧暦入りの年間カレンダーに特徴的な風の吹いた記録を記入する。 →1年分を各グループで分担し、気象庁の発表した風向・風速をグラフにする。 →旧暦とカレンダーの日付を照らし合わせ、どの風がどの時期に吹いたか予測する。	○風による季節変化を読み取る。	・旧暦カレンダー ・気象庁アメダスデータ
展開3 (10分)	○年間で季節の変化を見てみよう！ ★分担した月のカレンダーを貼り出し、季節の羅針盤と照らし合わせる。 →台風等の情報を入れる。 →旧暦や二十四節季、月齢との関連性にも触れる。	○旧暦と季節の変化の関係性に気づく。	

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・世界の季節的变化を調べる。	地域ごとの気候と結びついた文化を調べ、異文化理解を図る。
	・地域の行事へ参加し、地域の伝統について考える。	伝統行事の由来を調べ、季節とのかかわりを考える。
	・一次産業の季節变化を調べる。 ・季節変化への対応を一次産業者にヒアリングする。	一次産業と季節的变化の関係を調べることで、社会生活と自然環境の関わりを考える。

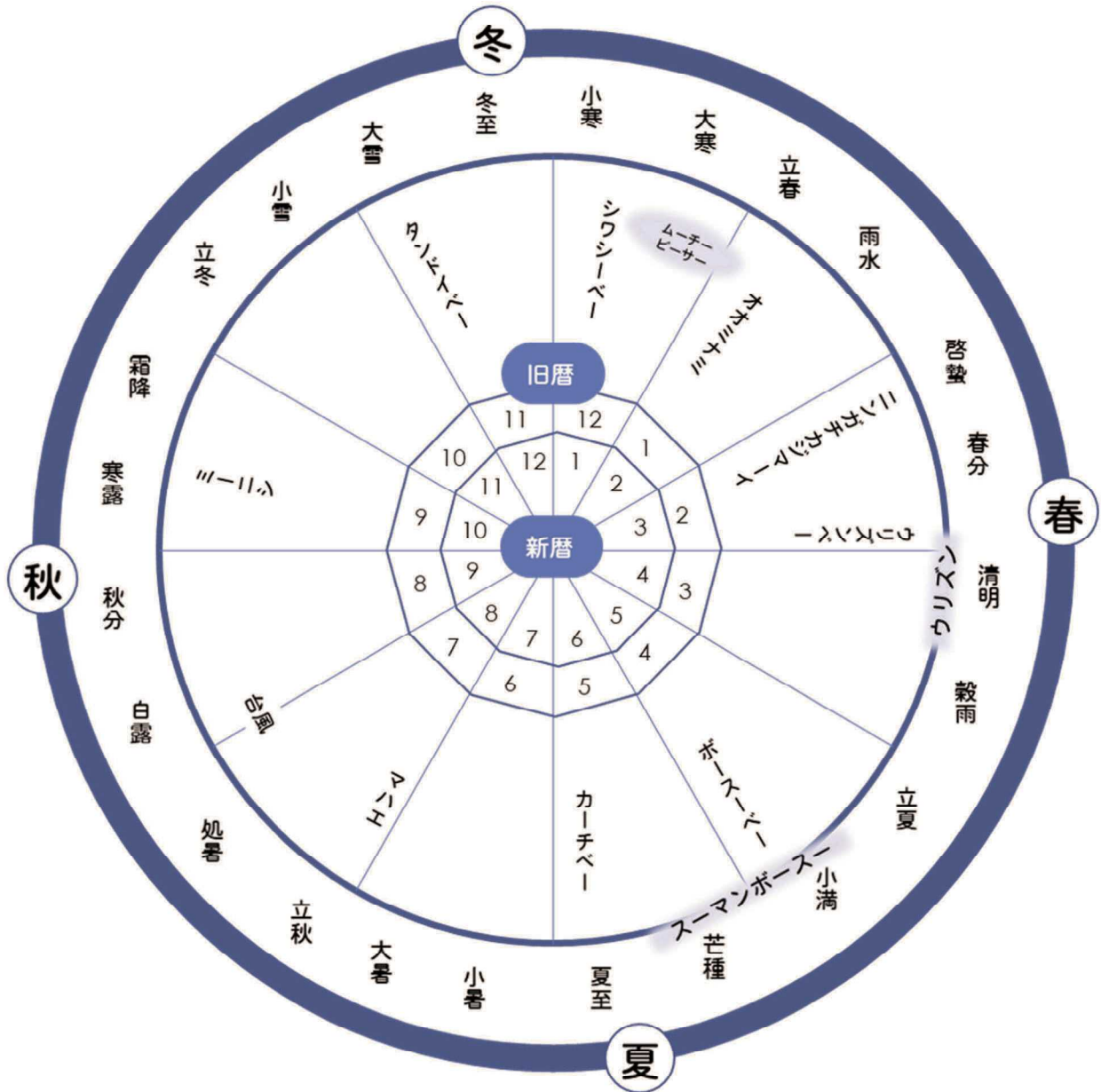
○情報リンク○

- ・気象庁 過去の気象データ検索 **情報** (<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)

風を読むワークシート

【季節の羅針盤】

こがへ



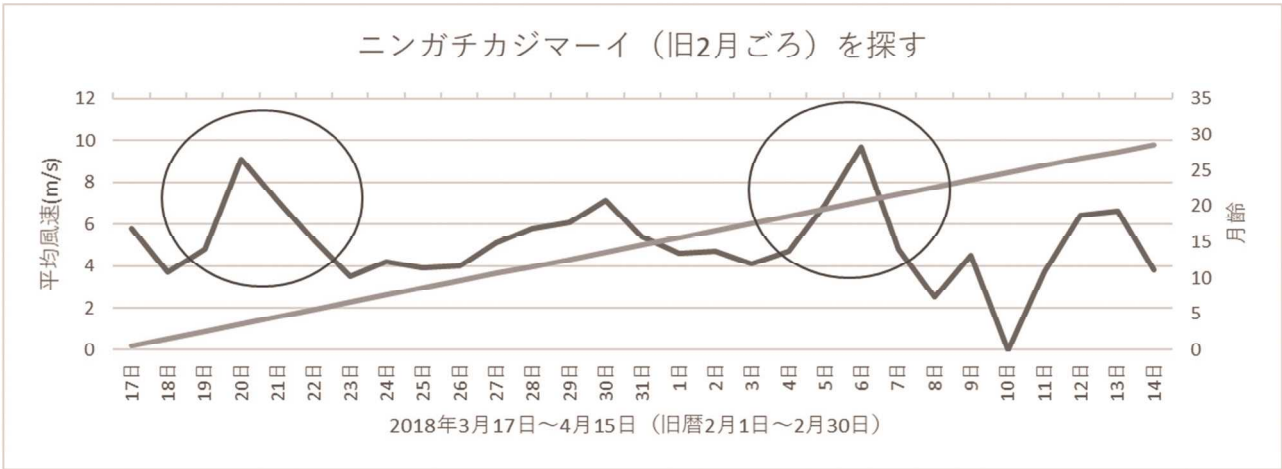
にじゅうしせっき

二十四節気と沖縄の風

※旧暦は年により日付が変わるため、正確な日付は旧暦カレンダーを参照。

風を読む（指導用解説）

●グラフ作成例● 旧暦カレンダー（http://okinawa.town-nets.jp/teiban/all_calendar.html）



【旧暦と沖縄について】

「太陽暦（グレゴリオ暦）」：地球が太陽の周りを回る周期をもとにした「現在のカレンダー暦」。一年を365日として、それを12ヶ月に分け、4年毎に閏年をおくことで、季節と暦のずれが出来るだけ小さくなるように作られている。

「太陰暦」：一ヶ月を、天体の月（太陰）が満ち欠けする周期に合わせて作られている。

天体の月が地球をまわる周期は約29.5日。一年は354.36日となり、実際の季節と暦がだんだんずれる。

「太陰太陽暦（旧暦）」：太陰暦のずれを補正するために、約3年に一回閏月を入れるほか、季節を知る目安として、約半月ごとの季節の移ろいをあらわす中国伝来の「二十四節気」を取り入れた。日本でも、明治6年に太陽暦に改められるまで太陰太陽暦が使われていた。

月の満ち欠けと旧暦は関連している。月の満ち欠けを見れば、だいたいの旧暦の日にちがわかる。また、旧暦の日にちから、月の満ち欠けの状況を知ることができる。一日が新月、八日が上弦、十五日が満月、二十三日が下弦である。

沖縄では先祖に関する年中行事や地域に伝わる祭祀のほとんどは、旧暦にしたがって行われている。旧暦と共に「二十四節気」が沖縄に伝わり、琉球王府はこれらを取り入れて定期行事や地方行事などの日選びを行うようになった。村の祭祀は年中行事となり、作物の成長に影響する季節の節目に旧暦にもとづいて行われるようになった。

（引用：沖縄観光情報サイトおきなわ物語 <https://www.okinawastory.jp>）

おきなわ

【沖縄の季節のことわざ】

ことわざ

地域	季節のことわざ
沖縄全域	<ul style="list-style-type: none"> ・ツバメ【マダヤー】が低く飛ぶときは雨 ・ヒヨドリ【スーサー】鳴けば雨 ・クジラが北へ行くときは平穏 ・雲【ヌーリ】が南から北へ流れると天気が悪化する ・クサゼミ多ければ干ばつの兆し ・いつもより梯梧の花が多いときは台風が多く発生する ・アリの穴を出て頻繁に往復するのは大風の前兆 ・クモが巣を縦に張る時は雨、巣をたたむときは大風 ・甘露の台風は地の底まで吹き通す ・秋の夕焼けは翌日晴天、朝照るのは雨になる ・タカの渡りは暴風の前 ・大晦日の夜、暗いときは豊年、明るいときは凶年 ・旧正月の前後の間深ければ粟がよく実り、深くなければ稲がよく実る
宮古地方	<ul style="list-style-type: none"> ・寅の方向の礁が鳴ると風雨が強くなる ・赤トンボが飛んだら台風が来る ・冬の天気は継母の顔のように変わる ・砂辺にすむカニの穴が海の方に向かない間は二月の季節風は終わらない ・海鳥が陸に上がり鳴いたら長雨する
八重山地方	<ul style="list-style-type: none"> ・リュウキュウアカショウビン【コカール】の口洗い雨 ・カタツムリが【ツタミ・ヌ】上向い【ウインカイ】ふた閉じれば【フタズツカ】干ばつ【ピディリ】 ・アリの【アーラ・ヌ】家が【ヤー・ヌ】、道中に【ミチナカン・ガ】在るなら【アルツ・カ】干ばつ【ピディリ】 ・クバの【クバ・ヌ】芯が【シン・ヌ】二、三本【フタミムト】出る年は【イディトシェ】大風【ウーカジ】 ・甘露のタカ渡り高ければその冬寒からず ・冬の南風は化け物

(引用：『沖縄天気ことわざ 気象季語から旧暦まで』（石島英、琉球新報社、2001））



⑪災害を知ろう




こころ

実施時間	45分	対象学年	小学校5年生以上
活用単元例 (指導要領)	<p>【小学校高学年】</p> <p>社会・世界の中の日本・我が国の国土の自然などの様子</p> <p>理科・生物と環境・土地のつくりと変化</p> <p>道徳・生命の尊重・自然愛・環境保全</p> <p>【中学校】</p> <p>社会・世界の様々な地域の調査・私たちと国際社会の諸課題・日本の地域特色</p> <p>理科・生物と環境・日本の気象・自然の恵みと災害</p> <p>技術・家庭科・家庭生活と環境</p> <p>道徳・生命尊重・自然愛護、自然への畏敬</p> <p>【高等学校】地歴公民・理科・家庭</p>		
○概要○	近年の自然災害について学ぶと共に、過去に沖縄で起きた自然災害を学ぶことで、自然災害との関わり方と災害への備えについて考える。		

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ <small>○児童の活動 ★講師・教員が実施</small>	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“災害”に関わる問いかけ。 「最近起きた災害のニュースを提示」など。	○“災害”に関わる 関心を引き出す。	
展開1 (15分)	○沖縄の過去の災害を知ろう！ ★沖縄県内で、これまでに起きた大きな自然災害について紹介。 →台風、地震、津波、干ばつ、豪雨、高潮等	○沖縄の災害を学ぶ。	※指導用参照
展開2 (15分)	○去年世界で起きた災害を知ろう！ ★世界各地で起きた災害を紹介。 →どこでどんなことが起きているか。 →沖縄では起きていない災害も知る。	○世界各地の災害を知る。	・自然災害のあゆみ ※指導用参照
展開3 (10分)	○自然と共に暮らすには？ ★災害を理解し、自然と共に暮らしていくために何が 必要か考える。 →災害の原因についてふれる。 →災害に備えるためにはどうしたらいいか考える。	○自然災害との関わり方と災害への備えについて考える。	

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 被災地支援について考える。 地域支援を考える。 	被災後の地域活動や地域づくりについて考え、自分たちにできる支援を検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> 災害後の生態系について考える。 	災害による自然環境の変化や被害について調べると共に生態系の変化を考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 災害の原因について考える。 人災（火災、風水害、原子力災害等）について調べる。 	災害の原因について地学的要素と気候変動等の社会生活が及ぼす影響について考える。

○情報リンク○

- 気象庁 災害をもたらした台風・大雨・地震・火山噴火等の自然現象のとりまとめ資料 [情報](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai_link.html)
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saigai_link.html)
- 世界の異常気象 [情報](http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/) 画像 (http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/)
- 内閣府 防災情報ページ [情報](http://www.bousai.go.jp/updates/index.html) (<http://www.bousai.go.jp/updates/index.html>)
- 琉球大学地震学研究室 [情報](http://seis.sci.u-ryukyu.ac.jp/) (<http://seis.sci.u-ryukyu.ac.jp/>)

自然災害のあゆみ

こじん

西暦	沖縄県	日本全国	世界各国
現在 ～ 2011	2017.05 宮古島近海地震 2016.06 与那国島近海地震 2016.05 石垣島北西沖地震 2015.04 与那国島近海地震 2015.04 与那国島近海地震 2014.12 石垣島北西沖地震 2014.07 台風第8号 2014.03 沖縄島北西沖地震 2012.09 台風第16号 2011.11 沖縄島北西沖地震	2018.06 平成30年7月豪雨 2017.07 平成29年7月九州北部豪雨 2016.04 熊本地震 2014.09 御嶽山噴火 2014.07 平成26年8月豪雨 2011.03 東北地方太平洋沖地震・大津波 2011.01 新燃岳噴火	2018.09 インドネシア地震・津波 2017.09 メキシコ地震 2017.09 カリブ海諸国ハリケーン 2017.08 米国ハリケーン 2016.06 欧州大洪水 2015.04 ネパール地震 2013.11 フィリピン台風 2012.10 米国ハリケーン 2012.04 スマトラ島沖地震 2011.10 トルコ地震 2011.06 チリ-プジェウエ火山噴火 2011.02 ニューゼaland地震 2011.01 オーストラリア大洪水
2010 ～ 2001	2010.02 沖縄島近海地震 2007.07 台風第4号 2003.09 台風第14号 2001.12 与那国島近海地震 2001.09 台風第16号	2008.06 岩手・宮城内陸地震 2007.07 新潟県中越沖地震 2004.10 新潟県中越地震	2010.02 チリ地震 2010.04 アイスランド火山噴火 2010.01 ハイチ地震 2009.04 イタリア地震 2008.05 四川大地震 2008.05 ミャンマーサイクロン 2005.08 米国ハリケーン 2004.12 スマトラ島沖地震 2003.12 イラン地震 2003.08 欧州熱波 2001.01 インド西部地震
2000 ～ 1991	1998.05 石垣島南方沖地震	1995.1 兵庫県南部地震 1993.07 北海道南西沖地震・大津波 1991.06 雲仙岳噴火	1999.09 台湾大地震 1994.01 ロサンゼルス地震 1991.06 フィリピン-ピナトゥボ噴火 1991.04 バングラディッシュサイクロン
1990 ～ 1981		1986.11 伊豆大島噴火 1984.09 長野県西部地震 1983.10 三宅島噴火 1983.05 日本海中部地震・大津波	1989.10 サンフランシスコ地震 1985.11 コロンビア噴火 1985.09 メキシコ地震 1985.05 バングラディッシュサイクロン
1980 ～ 1971		1978.06 宮城県沖地震 1978.01 伊豆大島近海地震 1977.08 有珠山噴火 1974.05 伊豆半島沖地震	1980.05 米国-セントヘレンズ噴火 1976.07 唐山地震
1970 ～ 1961	1968.09 第3宮古島台風 1966.09 第2宮古島台風 1966.03 台湾東方沖地震	1968.05 十勝沖地震・津波 1964.6 新潟地震	1970.11 バングラディッシュサイクロン 1970.05 ベルー地震 1965.05 バングラディッシュサイクロン 1964.03 アラスカ地震 1963.11 アイスランド海底火山噴火
1960 ～ 1951	1960.05 チリ地震の津波 1959.09 宮古島台風 1958.03 石垣島北東地震	1960.05 チリ地震の津波 1959.09 伊勢湾台風 1958.09 狩野川台風 1954.09 洞爺丸台風 1952.03 十勝沖地震・津波 1951.10 ルース台風	1960.05 チリ地震 19570.3 アリユーション地震 1952.11 カムチャッカ地震
1950 ～ 1941	1947.09 石垣島北西地震	1948.09 アイオン台風 1948.06 福井地震 1947.09 カスリーン台風 1946.12 昭和南海地震・津波 1945.09 枕崎台風 1945.01 三河地震 1944.12 昭和東南海地震・津波 1943.09 鳥取地震	1947.03 アイスランド-ヘクラ噴火 1948.10 トルクメニスタン地震
1940 ～ 1931	1938.06 宮古島北北西地震	1940.08 積丹半島沖地震 1939.05 男鹿地震 1934.09 室戸台風 1933.03 昭和三陸地震・大津波 1931.09 西埼玉地震	1939.12 トルコ地震 1939.01 チリ地震 1932.12 甘肅省地震
1930 ～ 1921	1926.06 沖縄島北西地震	1930.11 北伊豆地震 1929.06 駒ヶ岳噴火 1927.03 北丹後地震 1926.05 十勝岳噴火 1925.05 北但馬地震 1924.01 丹沢地震 1923.09 大正関東地震・津波 1922.12 島原地震	
1920 ～ 以前	1920.06 台湾東方地震 1915.01 石垣島北方地震 1911.06 喜界島近海地震 1910.07 台湾東方地震 1909.08 沖縄島東方地震 1771.04 八重山地震・津波 (明和の大津波)	1917.10 東京湾台風 1914.03 秋田仙北地震 1914.01 御岳噴火 1914.01 桜島地震 1911.06 喜界島地震 1909.08 姉川地震 1905.06 芸予地震 1901.08 青森県東方沖地震	1915.01 イタリア地震 1908.12 シチリア地震 1906.09 香港台風 1906.04 サンフランシスコ地震 1906.01 エクアドル沖地震 1902.05 西インド諸島火山噴火

⑫防災マップを作ろう！

こころ

実施時間	45分×2コマ	対象学年	小学校5年生以上
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会	・世界の中の日本・我が国の国土の自然などの様子	
	理科	・生物と環境・土地のつくりと変化	
	道徳	・生命の尊重・自然愛・環境保全	
	【中学校】		
	社会	・世界の様々な地域の調査・私たちと国際社会の諸課題・日本の地域特色	
	理科	・生物と環境・日本の気象・自然の恵みと災害	
	技術・家庭科	・家庭生活と環境	
	道徳	・生命尊重・自然愛護、自然への畏敬	
○概要○	通学路マップを作成し、学校地域の地図から災害時に危険な箇所を確認し、避難場所や経路について話し合うことで、災害に備える知識を深める。		

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ <small>○児童の活動 ★講師・教員が実施</small>	学習のねらい	必要な教具・教材 / ☆留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“地域”に関わる問いかけ。 「通学路にはどんな建物や自然がある？」など。	○“地域”に関わる 関心を引き出す。	
展開1 (20分)	○通学路を書いてみよう！ ★自宅から学校までの通学路を各自で作成。 →住宅・商店、畑等の街の状況を記載。 →崖、川、海、池、林等の自然環境も記載。	○地域を振り返る。	・ワークシート ※指導用参照
展開2 (15分)	○地域の情報をまとめてみよう！ ★通学路が近いメンバーでグループを作り、通学路マップにランドマークを追加していく。 →危険な場所や怪しい場所に目印。 →助けてくれそうな大人がいる場所に目印。 ※指導用参照	○地域のリスクを知る。	・ワークシート
展開3 (5分)	○通学路を歩いてみよう！ ★今日の帰り道と明日の登校時を利用して、作成した通学路マップの確認をする。(宿題の説明) →宿題として、帰り道に通学路の環境を確認する。 →より詳しい内容を追加していく。	○地域環境を確認する。	・ワークシート
展開4 (15分)	○比べてみよう！ ★市町村が発行する防災マップと通学路マップを比較し、災害リスクの高いエリアを確認する。 →海拔、土砂崩れ、河川浸水、高潮浸水、津波浸水予測。 →避難所や公園をチェック。 →AEDや消火栓、公衆電話の位置を確認。	○防災マップを理解する。	・ワークシート ・市町村ごとの防災マップ
展開5 (30分)	○防災について考えよう！ ★通学路マップと防災マップを比較し、災害リスクの高いエリアには何があるかを話し合い、必要な対策を考える。 →災害に対して、どのように備えるべきか考える。	○自然災害との関わり方を考え、防災の意識を高める。	・ワークシート

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 被災地支援について考える。 地域支援を考える。 	被災後の地域活動や地域づくりについて考え、自分たちにできる支援を検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> 災害後の生態系について考える。 	災害による自然環境の変化や被害について調べると共に生態系の変化を考える。
	<ul style="list-style-type: none"> 災害の原因について考える。 人災について調べる。 	災害の原因について地学的要素と気候変動等の社会生活が及ぼす影響について考える。

○情報リンク○

- NHK ぼうさいマップをつくろう  <http://www2.nhk.or.jp/bousaimap/about/>



防災マップを作ろう！ ワークシート

【通学路マップ】

防災マップを作ろう！（指導用解説）

●通学路マップ記入例●



●防災マップチェックリスト●

区分	施設例
避難施設	避難所：小学校、中学校等 一次避難所：公民館、コミュニティハウス等 一次集合場所：公園、集会所等 広域避難場所 広い空間：広場、駐車場 高い場所：高台、避難可能な3階以上の建物
防災施設及び災害時に役立つ施設	消防署、出張所、防火用水、井戸、消火栓、消火器、消防機庫、防災資器材置き場、交番、派出所、防災灯、病院、医院、コンビニ、スーパー、公衆電話、薬局、公衆便所、避難に適した道、AED
危険箇所	崩れそうな急傾斜地、崖、低地、狭い道、袋小路、古いブロック塀、用水路、小川、カーブ、曲がり角、過去に災害があった場所
その他	ガソリンスタンド